

2024 年 6 月 28 日

2023 年度事業・活動報告

熱帯林行動ネットワーク (JATAN)

活動報告 (2023 年度)

1. インドネシア産紙製品キャンペーン
 - さまざまなネットワークを通して現状に関する情報収集をおこなったが、2023 年度は特段のキャンペーンは実施しなかった。(2024 年度よりキャンペーンを再開予定、詳しくは 2024 年度事業・活動計画をご参照ください。)
2. 輸入合板キャンペーン (パタゴニア)
 - インドネシア、元アラス・クスマの子会社マヤワナ・ベルサダ社による森林破壊および土地紛争について、現地調査を実施し、[レポート](#)をウェブサイトに掲載した。Fair Finance Guide ケース調査報告書「[インドネシアからやってくる合板の裏側～アラス・クスマ・グループによる環境社会問題と銀行の責任](#)」も参考にされたい。
 - 木材・住宅関連企業 74 社を対象にアンケート調査を実施し、うち 25 社から回答を得た。アンケート結果の講評を上述のレポートに掲載した。
 - 2024 年 3 月、「[ボルネオ島熱帯林に由来する木材サプライチェーンと需要に潜むリスクーサラワク \(マレーシア\) と西カリマンタン \(インドネシア\) の現場からー](#)」と題する企業向けウェビナーを開催した。
3. パーム油利用企業への働きかけ (パッカード財団)
 - これまでの継続的な取り組みとして、パーム油を利用する企業の取り組み状況に関するアンケート調査を 110 社に対して実施し、うち 46 社から回答を得た。企業からの回答に基づき評価を作成し、「[企業格付け \(2023 年版\)](#)」としてウェブサイトで公表した。また、搾油工場リストを公表する企業 10 社に対して、個別の問題事例への対応状況を確認するためのアンケート調査を同時に実施した。
 - パーム油由来のバイオプラスチックを利用する企業 14 社に対して、認識を問うためのアンケート調査を実施し、うち 10 社から回答を得た。また、2 社との面談を実施。
 - GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) の受託運用機関や PRI (責任投資原則) への署名機関を対象に、企業への働きかけに向けて協力を得られそうな投資家へのアプローチのためレターを 131 社に送付し、18 社との面談を実施した。
 - アブラヤシ農園労働者の人権侵害に関する動画コンテンツ「[パルマンの物語ーアブラヤシ農園で働くこと](#)」を作成。
 - 2023 年 11 月、インドネシアで開催された RSPO RT2023 に参加し、現地の問題事例や認証制度の課題についてアップデート情報を収集した。
 - 企業向けウェブサイト「[パーム油調達ガイド](#)」の内容を一部アップデートした。上記、認証制度の課題や個別の問題事例などについては近日中にアップデートする予定。

4. バイオマス発電事業への働きかけ

- 関連団体と連携しつつ、バイオマス発電事業への働きかけを行った。（経産省への働きかけ、事業者へのキャンペーン）
- 舞鶴での日立造船のパーム油発電所は、投資会社が撤退して頓挫。
- HIS は、パーム油の値段が上昇して利益が出ないまま、1 年近く保守運転レベルを継続したが、結局、鹿児島 of 南国興産株式会社へ売却。
- 木質バイオマス発電の問題点について、IPCC ガイドライン、GHG プロトコルで、木材を燃焼した CO2 を排出として算定していることから、木質バイオマスがカーボンニュートラルで算定しなくていいという誤解を指摘して拡散中。
- [CDP 気候変動での木質バイオマス企業による報告の問題点を指摘](#)
- 木質バイオマス発電事業に融資をしている銀行や責任投資原則（PRI）署名をしている機関投資家などの金融機関に働きかけをする。

5. オランウータン保護団体 COP との植林プロジェクト（緑の地球防衛基金）

- 継続事業（4 年目）として、現地カウンターパートである COP（オランウータン保護センター）主導のもと、東カリマンタン州スンガイ・レサン保護林の北部境界周辺にて、野生のオランウータンと近隣住民の衝突を防ぐことを目的とした、緩衝緑地を設けるための植林（果樹を中心に約 1,000 本）を実施した。

6. インドネシア、南スマトラ州 MHP（丸紅）に対するキャンペーン

- 2023 年 12 月、現地を訪問し、WALHI や HaKI といった NGO および元チャワン集落の住民たちへのヒアリングをおこなった。現在、元チャワン集落の住民たちが移転先の候補地にて定住することができるよう可能性を探っている状況である。
- 研究者とも連携し、国連に対して丸紅株式会社と子会社のムシ・フタン・ペルサダ社（MHP）に元チャワン集落の住民たちへの救済を求める申し立てのレターを作成した。近日中に送付予定。

7. チョコレート（カカオ）キャンペーン（LUSH）

- 米国マイティ・アースの協力を得て、2023 年 4 月に【ウェビナー】「[チョコレートがガーナの森を壊す？～ガーナの森林破壊とアグロフォレストリーの現状](#)」を開催。
- 2023 年 7 月に【セミナー】「[おいしいチョコレートはどこから来ているの？～ガーナのカカオ農園の未来](#)」を開催。
- 昨年のガーナ調査で得たカカオ生産に伴う森林破壊の現状とチョコレート企業の社会・環境問題に関する方針や取り組みを評価した「世界チョコレート成績表」をまとめ、消費者の行動を促す、新たな特設ウェブサイト『[チョコレートの舞台裏～カカオと森のつながりをたどる](#)』を開設。
- 百貨店を対象として、カカオに関する人権・環境についてのデューディリジェンス調査を行い、バレンタイン商戦をターゲットに 2024 年 2 月に[プレスリリース](#)を発表し、メディア向け勉強会を実施した。特設ウェブサイトにも掲載。
- ビー・スレイバリー・フリー率いるプログラム「[第 5 版世界チョコレート成績表 \(2024\)](#)」世界同時公開に合わせて、米国マイティ・アースと協力し、2024 年 3 月に日本で[プレスリリース](#)の発表とメディア向け勉強会を実施。成績表の最新版は特設サイトに近日掲載予定。

- 国内外での取り組みの現状に関する情報収集のため、定期的に JICA が主催する「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」に参加した。
8. インドネシア、西スマトラ州パヤクンブ〜パンカラン有料道路トンネル建設事業に係る調査等支援の中止要請
- 現地の先住民ミナンカバウのコミュニティが共有地や墓地、住居、農地を通らない道路ルートへの変更を求めている。昨年 12 月に FoE Japan とともに現地を訪問し、住民たちおよびかれらを支援するインドネシア環境フォーラム西スマトラ支部(WALHI Sumatera Barat)からの声を直接、聴取した。
 - 国家的事業のひとつと目される建設事業では JICA がカウンターパートの国の公共事業省と準備調査を進めている。コロナ禍で日本人スタッフが現地に駐在できない中、コンサルタントが住民への対策を担っているが、国を挙げてのインフラ整備に対して異論を封じかねない状況下で、どこまで少数派住民の権利が守られるか見通せない事態が続いている。FoE Japan とウェブ会議システムを使い、現地と随時コミュニケーションをおこなっている。また、JICA に対してはメールや会合を通して、住民コミュニティと現地政府の動きを伝えてきた。
(参考) FoE Japan [インドネシア住民グループが JICA に要望書を提出「居住地、生産性の高い土地、慣習地、文化的施設を通る有料道路ルートへの支援は行わないで」](#)
9. 会員拡大キャンペーン／ウェブ充実化の取り組み
- ウェブサイトのセキュリティ面でのアップデートを実施した。これにともない現在ウェブデザインを刷新しており近日中に更新予定。
10. 一般社団法人への移行について
- 2023 年 11 月に正式に一般社団法人格を取得した。

2024 年度事業・活動計画

活動計画（2024 年度）

1. インドネシア産紙製品キャンペーン（アーユス、地球環境日本基金）
 - 紙製品取り扱い企業（小売り業界、印刷業界）へのアンケート調査を実施し、NDPE（森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止）方針の採用およびデューデリジェンスの実施に向けた働きかけをおこなう。
 - インドネシア西カリマンタン州など、APP/APRIL の木材サプライヤー企業がもつ産業造林の事業権地を視察し、森林破壊やダヤック人など現地住民の慣習地収奪の問題に焦点を当て、現地調査をおこなう予定である。
2. 輸入合板キャンペーン（パタゴニア）

- マレーシア・サラワクで先住民族の権利擁護に取り組む NGO スタッフの協力を得て、現地の最新情報をアップデートする。
- サラワク産合板の問題に取り組む中で、日本が輸入する熱帯材合板の残りのおよそ半分を占めるインドネシア産合板の原料調達に関わる問題にも昨年から着手することになった。昨年 8 月の現地調査では、サラワク各地のコンセッションを回った後に、陸路、インドネシア領の西カリマンタン州を視察した。クタパン県に産業植林のコンセッションをもつ企業から伐採木材が日本向け合板の製造素材として搬出されている情報があることから、インドネシア産合板の原料調達網を現地レベルで追跡する。
- 現地調査の成果などからレポートを作成し、また、企業アンケートをあらたにおこなうなどして、今年度中に企業セミナーを開催したい。
- インドネシア、マヤワナ・ペルサダ社による森林破壊および土地紛争について、アップデート情報を収集するため現地調査を計画している。
- また、他 NGO（サンガ・ Bumi・レスタリやマイティー・アース等）とも連携しつつ、関連する日本企業への情報提供や問題解決に向けた働きかけをおこなう。
- オランウータンの生息が確認されている産業植林事業地に由来する伐採木材を使った木材製品が日本の市場に流入している問題については、インドネシアの現地で衛星画像等による調査・分析をおこなっている Sannga Bumi Lestari からメンバー2 名を招聘し、7 月に関連企業数社との面談と公開のセミナー、報告会を企画・実施する。日本のバイヤー企業とのエンゲージメントをさらに深めることにより、市場側から解決に向けたアプローチをつづけていく。

3. パーム油利用企業への働きかけ（パッカード財団）

- 昨年度に引き続き、パーム油利用企業の取り組み状況に関するアンケート調査（2024 年度版）を実施し、集計結果と各社のスコアリング評価をウェブサイト上で公表する。また、搾油工場リストの公表や個別の問題事例への対応等を促すためのレター送付も計画している。
- プランテーション・ウォッチ参加団体と連携しつつ、企業との会合を通じて NDPE 方針の作成および実施に向けた働きかけをおこなう。また、パーム油を原料としたバイオプラスチックを利用する企業への働きかけや、投資家へのアプローチについても継続しておこなう。
- 現地での問題事例や認証制度に関するアップデート情報をとりまとめ、既存のウェブサイトに掲載する。

4. 木質バイオマス発電事業への働きかけ

- GHG プロトコルや IPCC ガイダンスに基づいて、木材燃焼がカーボンニュートラルではないことを指摘し、
- GHG プロトコルの土地利用・除去ガイダンスが年末までに導入されるので、
- 土壌からの CO2 排出についての情報提供によって、木質バイオマス発電の問題についてメディア、金融機関、投資家などに広く知らせる
- PKS の調達状況についての問題点についての情報収集
- バイオマス発電に関係している事業者に対し、CDP 気候変動についての問い合わせを行う
- 木質バイオマス事業会社へレターを送付し、燃焼する CO2 を含めた排出量を適正に

報告することを要請。（エネルギー当たり石炭火力発電所より多くの排出係数となる）

- RE100、JCLP などの再生可能エネルギーを推進している電力購入企業、SBTi を取得している企業に対して、木質バイオマスの排出算定方法についての説明をして認識を広げる活動を推進する。
5. オランウータン保護団体 COP との植林プロジェクト（緑の地球防衛基金）
- 継続事業（5 年目）として、現地カウンターパートである COP（オランウータン保護団体）による植林活動への資金提供を行う。昨年度に引き続き、スンガイ・レサン保護林の北部境界にあるシドバンガン村周辺にて、野生のオランウータンとの衝突を防ぐための緩衝地帯を設けるための植林を計画している。
6. インドネシア、南スマトラ州 MHP（丸紅）に対するキャンペーン
- オンラインを通じて、引き続き現地 NGO よりアップデート情報を収集する。
 - チャワン・グミリール集落での強制排除の対応に加え、新たな紛争事例に関する情報などを利用し、国内外の投資家を通じた働きかけを行う。
7. チョコレート（カカオ）キャンペーン
- 西アフリカ（ガーナ）でのカカオ生産にともなう森林破壊の現状についてアップデートするため、現地調査を実施する。
 - 昨年度に引き続き、カカオに関連する日本の企業や政府組織に対して、NDPE、SBTi 等の方針の採用と実施およびトレーサビリティ管理を求める働きかけを行う。
 - 「世界チョコレート成績表 2025」の調査に関し、日本企業とのコミュニケーションとフィードバックや、成績表公開時に日本におけるプレスリリースの発表とメディア向け勉強会の実施を請け負う。
 - チョコレートを取り扱う百貨店やそこに来店するショコラティエなどを対象としてアンケート調査を行い、特設ページを通じた消費者への啓発キャンペーンをバレンタイン商戦に合わせて実施する。
8. インドネシア、西スマトラ州パヤクンブ〜パンカラン有料道路トンネル建設事業に係る調査等支援の中止要請
- 引き続き、現地の住民コミュニティ、現地 NGO と連絡を密にし、かれらの人権が守られ、先住民が主張する諸権利に配慮した解決が導き出されるような支援を継続する。
9. 会員拡大キャンペーン／ウェブ充実化の取り組み
- 過去、2 度にわたりハッキング被害を受けたことから、定期的なバックアップやセキュリティ更新等をウェブ管理者に依頼する。

以上